

施設等で新型コロナウィルス感染症が発生した場合の感染拡大防止の対応について

1、ゾーンニングをする

1) 感染者を個室で療養管理。

- ・感染者と非感染者を同室にはしないこと。
- ・感染者が多数いて、多床室で管理が必要な場合は、他の利用者との間に2m以上の間隔をあけ、ベッド周囲のカーテンを閉める。
- ・感染者が他のユニットに行かないようにする。
- ・2方向の定期的な換気。(換気扇と反対の窓を開けてください)。
- ・窓がない場合は空気清浄機を設置。

2) 隔離部屋に入るスタッフを決めて対応。

3) 隔離部屋の入り口の床に赤いテープを貼り、ゾーンニングする。

レッドゾーンの手前に通常エリアとの間に青テープを貼り、青テープから先を清潔ゾーン(グリーンゾーン)、赤いテープと青テープの間を境界ゾーン(イエローゾーン)として区別する。

イエローゾーンで、防護服等に着替えてから感染症部屋に入室する。

イエローゾーンが取れない場合は隔離部屋の入り口内部で防護服等を着替える。

4) 隔離室の入室前にPPE(ガウン、サージカルマスク、手袋、ゴーグル)を装着し、入室する。

退室時にはイエローゾーンでPPEを脱いで退出。

5) PPE脱ぐときは、一つ外すたびにアルコールで手を消毒する。

6) 退出後PPEを脱いだ後はすぐに、石鹼や液体洗剤で手を洗う。

2、シーツ、洗濯物、食器は他の患者とは分けて、家庭用洗剤で洗う。

3、できるだけ入浴はさけ、清拭で対応する。

4、ごみは他の患者と分けてゴミ袋に集めて、口をしっかり縛りゴミ袋2重にして捨てる。

5、トイレは感染部屋内にポータブルトイレを設置し、できるだけ感染者を室外に出さない対策する。

6、環境整備時、高頻度接触面は、1日1~2回以上アルコールもしくは0.05%次亜塩素酸ナトリウムで消毒。清掃時のベッド柵や手すり、テーブルなどを拭く際は、上から下、奥から手前、一方向で拭く。

7、感染した患者の観察では体温、パルスオキシメーターでの酸素分圧、呼吸苦等を一日数回観察し、血中酸素分圧が93%未満の時は肺炎の合併が疑われますので、かかりつけ医に報告する

※ゾーニングについて

レッドゾーン	イエローゾーン	グリーンゾーン(汚染されていない区域)
・最もウイルスがいる場所 感染者が療養する場所	PPE脱衣場所 脱衣の順序 ①手袋 ②手指消毒 ③ゴーグル・フェースシールド ④手指消毒 ⑤ガウン ⑥手指消毒 ⑦マスク ⑧手洗い	PPE物品の置き場 レッドゾーンに入るときは グリーンゾーンでフル装備

※ウイルスの生存期間(参考)

- ・段ボール表面:24時間
- ・プラスチック・ステンレス:2~3日
- ・空気中:3時間
- ・金属:5日
- ・木、ガラス:4日
- ・紙:4~5日